



通算第65号

1965~66-8-4

函館北ロータリークラブ

第58回例会

例会場 明治生命館
例会日 毎週水曜日
12.30~13.30

チはカリフォルニア大学の先生で、話はわかりませんでした、全員静かに傾聴していたのが印象に残りました。又シスコで「お前はロータリアンか」と聞かれた相手が、どこかで見た覚えがあり、それはNHKテレビに出たウィリアムさんでした。又ラスベガスの機中でスペインのロータリアンから話しかけられ、お互に話はわからず仕舞いでしたが、とも角握手して別れたのも愉快でした。ロータリアンは有難きもの哉と感じた次才です。

3. 驚きの巻

アメリカを旅行してみて流石に広いものだと思います。又道路が良く整備され、立体交叉の立派なこと等羨ましい限りでした。次に自動車が多かつたこと、ロスの空港前では9,500台位駐車すると聞いて驚きました。アメリカの飛行機は日本のバス並みと考えると良いでしょう。又シカゴの土産品店では8割位の品にmade in Japanとあり、極めて小さな字で書かれていて、made in Japan以外の土産を探すのに苦労したのは楽しい驚きでした。

4. 感心の巻

スクールバスの運転方法に先ず感心させられました。カーブの地点や横断歩道には救急車が待機していて、而もスクールバス優先です。又道路に対する愛護観念も徹底しており、道路清掃車が通る時は自分の家の前であつても駐車禁止、自分の家の前で自分の土地であつても、そこが芝生ならやはり駐車禁止で、違反すると5ドルの罰金だそうです。更に子供達の躰が良いのにも感心しました。デイズニーランドや食堂で長時間行列して待つている様子を見ましたが、そのマナーは実に立派でした。

5. 成せば成るの巻

羨ましい程の立派な広い道路で、而も道路標識も良く行届いていますが、アメリカ人の安全運転に対する考え方は立派で、犬を轢き殺すことさえ許されません。道路工事も日本と違って手際良く、通過する自動車に対しても極めて親切でした。又都市の拡充に対する為政者の考え方も良く、シスコの山の上も整備され、水道とガスが先にひかれ、後から家が並ぶというやり方です。なおエール大学の教授から「日本の学者はアメリカに来て豪ぶつてあまり勉強しない」と言われたのは耳の痛いことでした。

6. おわりに

アメリカ旅行でレディ・ファーストに戸迷いました。又言葉はわかりませんでした、けつこり手真似で用が足りたところをみると何とかなるものです。

出席報告

先週の確定出席率 79.31%

- 司会 遠藤会長
- 斉唱 *君が代、*奉仕の理想、
- ビジター 梅津福次郎君他8名(函館R.C.)
辻常太郎君他10名(函館東R.C.)

会長報告
今月は珍しいことに誕生日の方がありません。然し新入会員が2名誕生しましたので、宮崎英一君を成田会員より、山形清君を私から紹介します。

- 幹事報告
- 1. 東日本連合地区大会の参加申込は今週限りです。御希望の方は私迄。
- 2. 例会終了後理事会を行ないます。役員、各委員長はお残り願います。

映画 *みなみ北海道、— 函館とその周辺 —

HBC映画部製作

騒音と煤煙とストレス。東京の生活に疲れた一青年が、彼にとってはあこがれの地、異境「道南」にやつて来ました。一青年即ち「私」の旅行印象記が、啄木の歌や白秋の詩等をも適所にとり入れ、名調子でスピーカーから流れました。画面はこれ又素晴らしく綺麗なカラーで、私達にはいつも見馴れている風物ではありませんが、私達の郷土がかくも素晴らしきものかと、改めて見直した次第です。百年の昔をしのばせる北海道の心の故郷「函館」という名文句で始まり、雨の日の函館の若い女性との出会いと、大沼公園での偶然の再会シーンも微笑ましく、函館、松前、江差、更に恵山、仁山、大沼等が次々と画面で紹介されてゆきました。実に綺麗でした。「江差追分」の哀愁を帯びた歌い振りにも聞き惚れました。北海道の持つ雄大な自然美に接し、そして函館女性の美しく優しき人情味にふれた「私」にとって「みなみ北海道」は限りない魅力として、いつまでも忘れないでしょう。

出席報告

- 1. 本日 会員数30名 出席21名
- 2. 先週の確定出席率 85.71%
会員数28名 出席21名 他ク出席3名 計24名
- 3. 他クラブの状況 函館 85.03% 函館東 90.14%

新入会員御紹介

宮崎 英一君
Eiichi Miyazaki



△生年月日 大正8年11月8日
△自宅及び電話 函館市北浜町57
③2884 ③8103
△職業分類 (大分類) 医術
(小分類) 皮膚科
△経歴 日本大学医学部卒業 医学博士
(昭和26年) 昭和36年より
現地で開業
△趣味 囲碁 海釣
△御家族 お父さん喜三郎氏(元函館R.C. 会員 71才)
お母さんはつ子さん 奥さん美津子さん(大正12年8月
16日生) 養子光一君(日大薬学部卒業) 長女みゆき
さん(遺愛高校) 次女あけみさん(遺愛中学)
△結婚記念日 昭和23年4月23日

山形 清君
Kiyoshi Yamagata



△生年月日 昭和3年3月8日
△自宅及び電話 函館市八幡町61 ③5735
△職業分類 (大分類) 建築材料 (小分類)
サッシュ及びドア製造
△勤務先及び地位 松浦鉄工株式会社 代表取締役
△勤務先住所 函館市官前町18
②4268 ③3624 ③6684
△経歴 函館市立巴小学校卒業 昭和22年松浦利夫氏と共同経営
にて鉄工所開業 32年札幌松浦と函館に分離し現職に就
任、三浦工業KK協力工場となる
△趣味 弓道 野球
△御家族 奥さん綾子さん(昭和7年8月2日生) 長女津代さん
(五稜中学) 長男肇弘君(五稜中学) 次男貢生君(八
幡小学校) 三男康生君(八幡小学校) 次女佳代さん
△結婚記念日 昭和25年10月15日



通算第66号

1965~66-8-11

函館北ロータリークラブ

第59回例会

例会場 明治生命館
例会日 毎週水曜日
12.30~13.30

- 司 会 遠藤 会長
- 斉 唱 "奉仕の理想"
- ゲ ス ト トレーヴァ D・ウイルソン君
米田 正晃君
- ピ ジ タ ー 村上正夫君他11名(函館R.C.)
白崎豊治君他10名(函館東R.C.)
- 会 長 挨拶

本日はオーストラリアの Rotary Foundation Fellowである東京大学経済学部研究生の Trevor D Wilson 君をお迎えしましたので、あとでスピーチをお願いいたします。同行の方は友人の学修院大学経済学部の米田君です。又 Wilson 君とパナー交換(KIAMA R.C.)をします。

- ス ピ ー チ "オーストラリアのお話"

トレーヴァ D・ウイルソン君

私は3年間日本語を勉強し、昨年11月からロータリーの奨学金をいただき、1年間「日本経済史」を勉強しています。この度北海道を旅行し、ロータリークラブを訪問しようと思いやつて参りました。

私の故郷はシドニーの南海岸のカイアマという人口3,000人の小さな町で、父はカイアマのロータリー会員で、牧場を経営していました。オーストラリアではキャンベラ大学に学びました。私にとって東京の様な大都会で暮らす経験は初めてで、オーストラリアと大変な違いがあるのに驚きました。オーストラリアには、シドニー、メルボルンの様な都市はありますが、それでも全人口は1千万位で、広さは日本の20倍位。中央平原には広大な牧場があり、日本の国位の土地を所有している人がいて、自家用の飛行機を持っています。日本の方には御想像出来ますか?

気候は、オーストラリア北部は熱帯で、南端にあるタスマニア島は北海道と同じです。建物にも違いがあり、日本では小さな家が多いが、オーストラリアでは大建築が多くを占めています。道路は日本の4倍位あります。電車等は発達していませんので、自家用車がなければ広い土地なので用が足りません。北海道に来てみて、小さな街と駅があつてオーストラリアと良く似ており、又函館は海岸で山が近く、私の故郷と感じが似ていて懐しく思いました。